

高品ハイツ自治会 見守り声掛け訓練

目的	認知症の理解と接し方を学び、地域の声掛けや見守りによって住み慣れた街で、いつまでも認知症の方が暮らせる地域づくりを目的とする。	
開催にあたっての経緯	グループホームの運営推進会議にて、見守り声掛け訓練も開催している地域もあると提案したところ、参加してみたいとご家族の方より要望が出て開催となった。	
実行メンバー	民生委員 高品ハイツ自治会 圏域ケアマネと介護サービス事業所 あんしんケアセンターみつわ台	
実施地域	千葉市若葉区高品町	
開催日時	令和7年12月12日（金）13：30～15：00	
参加者数	27名	(内訳) 民生委員2名 高品ハイツ住民7名 居宅ケアマネ6名 介護サービス事業所2名 社協2名 東警察2名 千葉市1名 あんしん5名

開催までの流れ		
3月21日	高品ハイツ地域ケア会議	認知症に関して周知を打診
8月19日	認知症サポーター養成講座	8名参加
9月26日	高品ハイツ地域ケア会議	見守り声掛け訓練の打診 タイムテーブル
10月	当日講師依頼 声掛け訓練用ビブス	千葉東警察署 千葉市地域包括ケア推進課
11月	圏域居宅支援事業所等へ周知	
12月1日	どこシル伝言板の取り扱い方	千葉市地域包括ケア推進課にて確認
12月	見守り声掛け訓練のぼり旗手配	社会福祉協議会
12月	認知症役へ当日の流れ周知	

必要物品及び入手先		
(例：拡声器：●●小学校から借りる)		
○会場・駐車場確保（自治会）		
○配布資料・筆記用具		
○ビブス・二次元コード（地域包括ケア推進課よりレンタル）		
○声掛け訓練用のぼり旗（稲毛区社会福祉協議会よりレンタル）		

開催当日の流れ		
13：30	挨拶	
13：35	行方不明高齢者の最近の動向	千葉東警察署 地域課より講話
13：45	どこシル伝言板について	千葉市地域包括ケア推進課より概要説明
14：00	声掛けのポイント	認知症地域支援推進員より
14：10	グループ分けとリーダーを決定	
14：15	見守り声掛け訓練	

14:30	グループワーク	気付いたことを話し合って発表
開催風景		
(写真と場面説明)		
千葉市東警察署 地域課より 行方不明高齢者の最近の動向の説明	千葉市地域包括ケア推進課より どこシル伝言板の説明	
		
見守り声掛け訓練の様子	グループワークを実施	
		

課題・反省
・参加者ほとんどの方が初めての声掛け訓練であったが、警察からの講話や助言、圏域ケアマネとの住民の交流、更にグループワークを行う事により、認知症の方への丁寧な接し方、介護経験者からの声掛けのコツなども聞けて、各々が地域に住む実際の認知症の方への対応方法を見直す事ができた。
・認知症センター養成講座を開催し、住民の方が受講することで、認知症を正しく理解し、地域で暖かく見守れる地域づくりが必要と感じている。
・様々な職種が関わる事でつながりを感じてもらえるきっかけにもなると思った。他の地域でも開催できる様にしていきたい。